

2011年 アンチエイジング化粧品の 市場分析調査

半信半疑調査

市場分析

マーケットポジション

2009年度のスキンケア全体の市場規模は
6,084.9億円(経済産業省化粧品出荷統計による)

【背景】

不況による消費の低迷および消費者の低価格志向が高まり、
市場全体が落ち込んでいる(2008年度比8.1%減で推移)



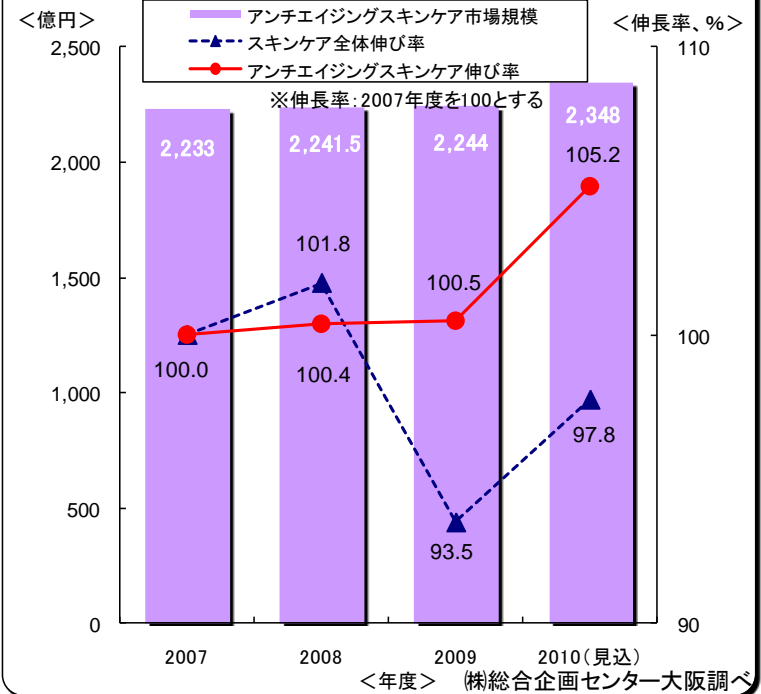
スキンケア市場におけるアンチエイジング
スキンケアの割合は2009年度で36.9%

アンチエイジングスキンケアは、スキンケア市場全体の
3割以上を占める大きなマーケットを構成
(美白スキンケア市場の構成比(34.8%)を上回る。)

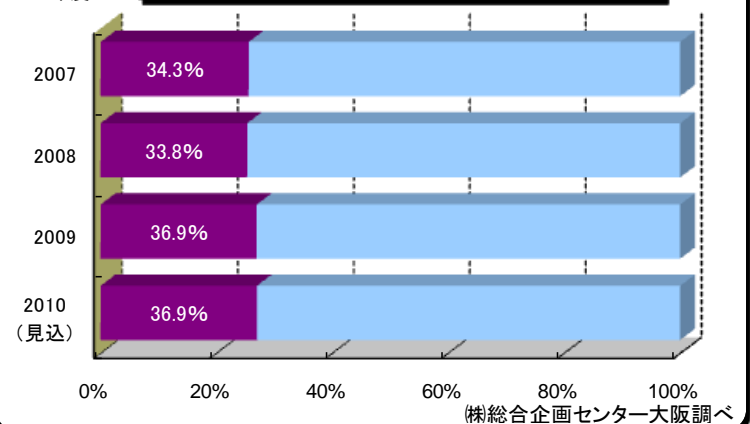
【主要要因】

参入企業が講じる商品および販売施策の成功

アンチエイジングスキンケアの市場規模推移と伸長率



スキンケア市場に占めるアンチエイジングスキンケアの割合



商品展開状況

企業別展開状況

主要17社が展開するアンチエイジングスキンケアの総品目数は1,315品目。1社あたりの平均品目数は77.4品目

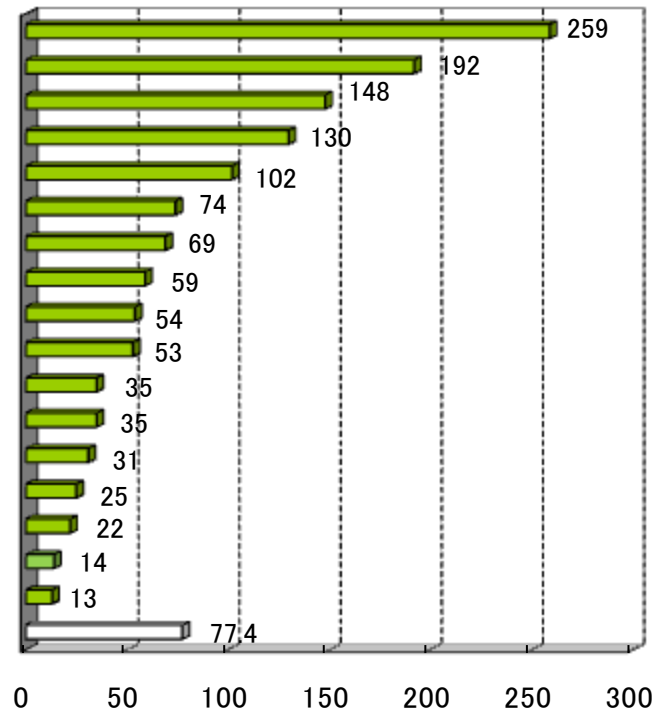
前回調査時からの品目数の増減は、
カウンセリング系企業が増加傾向

【増加の要因】

「suisai(カネボウ化粧品F1)」や「ランコム(日本ロレアル)」などの主力ブランドの商品追加が活発になっているほか、「エリクシール(資生堂)」から美白ラインを上市するなど、エイジングケアブランドにおける多機能ラインの追加など

企業	品目数		
	今回	前回	増減
カネボウ化粧品(F1)	259	228	31
コーセー	192	190	2
資生堂	148	127	21
日本ロレアル	130	124	6
資生堂インターナショナル	102	87	15
花王	74	68	6
LVMHグループ	69	71	-2
アルピオン	59	47	12
ポーラ	54	52	2
カネボウ化粧品(F2)	53	57	-4
クラシエホームプロダクツ	35	22	13
エスティローダー	35	35	0
ロート製薬	31	-	-
ドクターシーラボ	25	-	-
コーセーコスメニエンス	22	25	-3
ナリスアップコスメティックス	14	21	-7
資生堂フィテイト	13	12	1
平均	77.4	77.7	8.8
合計	1,315	1,166	149

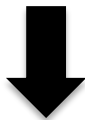
主要企業17社の品目数



今後の展開

アンチエイジングスキンケアの今後の市場性

【2009年度】
アンチエイジングスキンケア市場は
2008年度から0.1%増で推移



【2010年度】
4.6%の伸長が見込まれ、
今後も市場は拡大傾向が
続く見通しとなっている

参入企業およびブランド数が増加している
ことから競争が一層激化することが予想され、
今後は消費者に明確な差別ポイントの
提案が必要となることが見込まれる。

市場に影響を与えるプラス要因

成分開発などによる商品の高機能化

チャネルの拡大による市場活性化

ターゲット層の広がりによるユーザーの拡大

市場に影響を与えるマイナス要因

低価格商品の需要による購入単価の下落

多機能アイテムの人気による購入数下落

新規ユーザー獲得数の鈍化

新規注目成分の不在

今後の市場はブランドの再構築とチャネル戦略(通販、専門店、訪販)を進める方向にある。

この度は、資料をご覧いただき誠にありがとうございました。

**このテーマに関する詳細情報をお知りになりたい場合は、
お問い合わせフォームをご利用ください。**

※詳細な資料データ解説、社内セミナーのご依頼など、ご要望をお寄せください。

宜しくお願い致します。

株式会社ソフィアリンクス